

消化器症状を呈するウイルス感染症についての研究

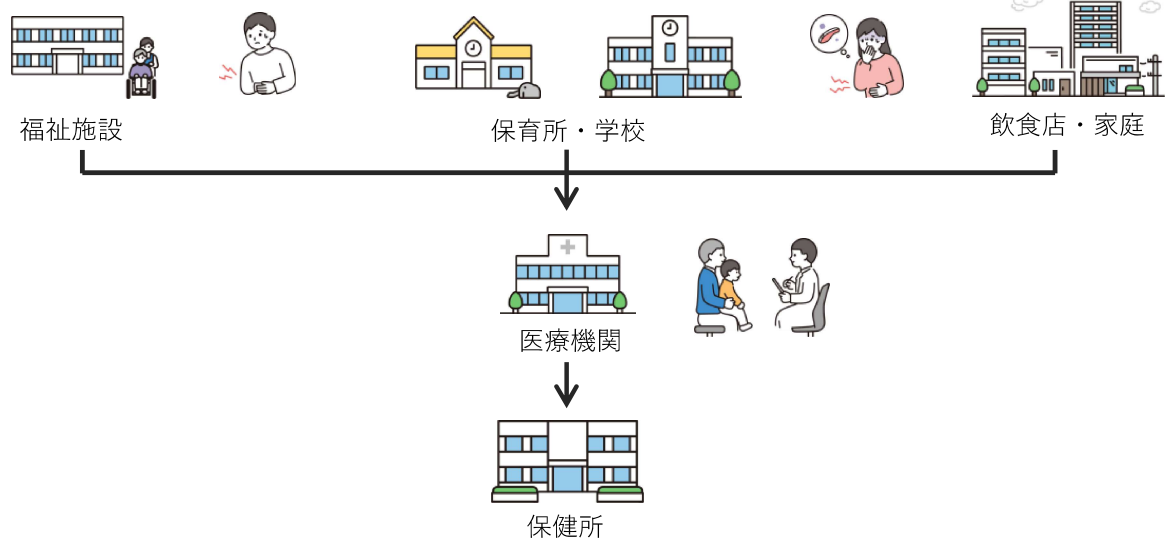
感染性胃腸炎

- ・ウイルスや細菌などによる胃腸炎
- ・嘔吐、下痢、発熱
- ・症状による診断が多い

急性肝炎

- ・肝炎ウイルスの感染による肝機能障害
- ・黄疸、食欲不振、嘔吐、倦怠感、発熱
- ・潜伏期間が長い

病原体・感染源は不明



<患者報告数>

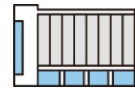


宮城県結核・感染症情報センター
国立感染症研究所 感染症疫学センター

- ・ウイルス検出率、遺伝子型の変化は？
- ・どんなウイルスが流行している？
- ・検出したウイルスに関連はありそう？

事例単位の解析から地域単位の解析へ

<検体、疫学調査情報>



宮城県保健環境センター
・微生物学的検査
・血清学的検査

検査技術の向上が必須

- ・人材の育成
- ・細胞培養など各種手法の検討
- ・ゲノム解析など新たな技術の導入など

症状への寄与割合、発症率、遺伝子型の地域多様性の分析

感染性胃腸炎・急性肝炎の全貌の理解につながる



得られる成果

ウイルスの流行予測・原因究明など今後の公衆衛生対策に役立つ

- ・県民への感染予防対策や情報発信に活用
- ・今後の行政検査や新興・再興感染症対策など将来の健康危機へ応用など